

企業・NPOとの コラボ授業レポート!

このコーナーでは、毎回、企業・NPO・地域団体等と学校が連携した取組を御紹介していきます。

みどりの授業 —地球温暖化を防ぐために—

マングローブの植林を通して環境を守ることの大切さを伝える

……東京海上日動火災保険株式会社 (以下、東京海上日動) の取組紹介

子どもたちの心に響く環境教育

「次の4枚の写真の中で、マングローブはどれでしょう?」

都立久我山盲学校の小学校4、5年生に向けての授業が始まりました。

スクリーンに、パワーポイントを使って4枚の植物の写真が映し出されます。スクリーンを見づらい子には、机上のプリントや点字での説明書が準備されています。子どもたちは次々に「1番!」「3番!」と手を挙げ答えます。「正解は…全部マングローブの木なのです!」子どもたちから、驚きの声が上がります。本物のマングローブの種も見せてくれます。それがまた、細長かったり大きかったり。「後でたくさん触っていいですよ。」と笑顔で語りかける講師。早くも子どもたちの関心を引き付けました。

この後も、パワーポイントにビデオを加え、授業はどんどん進んでいきます。特に、マングローブの植林を海外で実際に体験した人の話には、一段と子どもたちが集中します。何のためにマングローブを植えるのか、どんな気持ちで

植えるのか、講師の人も真剣です。その真剣さが子どもたちにも十分に伝わってきます。最後に、自分たちができることを考え発表しますが、一人一人が自分の生活を振り返り、できることから取り組んでいこうという気持ちが伝わってきます。まさに子どもたちの心に響く授業でした。

東京海上日動の取組

東京海上日動では、地球温暖化を防ぎ自然と共存していくことを目指して、1999年より、東南アジア5か国でマングローブの植林を始め、2004年3月までに3444haの植林を完了しました。「みどりの授業」は、このマングローブの植林と制服のリサイクルを題材に、「地球温暖化」をテーマに組み立てられています。

また、この「みどりの授業」は2004年10月に会社の合併により不要になった制服をリサイクルし、「自然に土に戻る植木鉢」を3万4千個作成したことがきっかけとなりました。当初は、都内の小学校へ植木鉢を寄贈することだけを企画していましたが、都環境局からのアドバイスをきっかけに、植木鉢を寄贈するのであれば、その際に授業も行って、植木鉢を作った経緯や意味、また地球環境保護について考えるきっかけを提供

していこうと、社内総務部、広報部、CSR室が連携し、授業内容・運営方法等について試行錯誤を重ねながら改良を加え、現在に至っています。今年度は取組を全国に展開し、合計40校で実施されます。特に都内においては小学校に加えて、盲・ろう・養護学校10校でも実施されています。講師役は社員・代理店等から募集

します。社内では大変に人気が高くてたくさんの応募があり、中には九州などから参加する社員もいるそうです。

都立久我山盲学校での授業の様子



板橋区立金沢小学校での授業の様子



最後は植木鉢のプレゼントがあります



本物の種を触って喜ぶ子どもたち



実際に今年度授業をされた **藤田泰博さん**
(総務部課長代理 災害対策担当) に話を伺いました。



授業者として伝えたいことを、真剣に気持ちを込めて。

「授業の組立てでは、限られた時間の中でどこに重点を置くかということがとても重要です。私の場合は植林の体験談と話し合う時間を大切に、子どもたちとのコミュニケーションをとることを第一に考えました。また、昨年度に比べ今年度は自分でプログラムを組立てることができるようになり、自分の伝えたいことを十分に伝えることができるようになりました。」

授業を行うときには、いかにわかりやすい言葉で説明するかということに気を付けています。地球温暖化については、難しい用語が多いからです。できるだけ熟語をなくし、また子どもの目線に合わせて話をするように心がけています。子どもたちと接することができるのは、とても楽しいです。子どもたちは、本当に真剣な表情で授業を受けてくれます。そんな子どもたちの姿を見ると、こちらも感動してしまいます。中には、授業後、私たちに自分の考えを伝えに来てくれる子もいます。そんな時、改めて授業をやってよかったな、と感じます。」

この取組を推進している、**宮下伸子さん**
(経営企画部 CSR室副主事) にお話を伺いました。



授業はすべて手作り。この取組をどんどん広げていきたい。

「この『みどりの授業』は、いろいろな方にアドバイスをいただきながら、すべて手作りで創りました。始めて1年半になりますが、社内の反響は大きいです。授業を実施することは、社員にとっても、マングローブ植林や会社が行っている環境保護活動についてなど、自分の会社の取組を理解する機会となります。さらに、会社に誇りをもつようになり、社員の活力も高まります。」

学校への働きかけについてですが、都内では環境局さんを通して学校の募集をいただいています。東京以外の地域については、各市町村の教育委員会や校長会を通して学校を募集させていただき、希望のあった学校にて授業を行っています。

盲・ろう・養護学校での授業についてですが、事前にくつろぎの学校に御相談に伺ったところ、とても喜んでいただいたので、今年度から授業をさせていただくことになりました。授業実施前には、学校側と授業の進め方について事前に十分に打ち合わせをする時間を設けました。講師役の社員も学校に行き、実際の授業を見学させていただいた上で、学校の先生方と授業の内容について打ち合わせを重ねました。事前に打ち合わせをしたことで、点字の資料を学校側で用意していたり、担任の先生にも手話通訳をお手伝いいただいたり、学校側から様々な御協力いただくことができました。今後も、学校とこのような連携をしながら、児童・生徒に合った効果的でわかりやすい授業を行っていきたく考えています。」

東京海上日動では、この「みどりの授業」を2008年度まで実施する予定です。また、今後は授業のテーマを増やしていくことを検討されるということです。

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
東京海上日動火災保険株式会社 経営企画部 CSR室

電話 ● 03-3285-0274 (ダイレクトイン)

ファクシミリ ● 03-5223-3025

ホームページ ● <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

連絡先

